

「宮城野区沿岸部における 海岸林の歴史と自然」

東日本大震災から6年を数えます。大きな被害を受けた宮城野区。復興状況へのオモイ、代々受け継がれてきた地域へのオモイ、あの日のオモイを語り継ぎ、風化させないよう未来の子どもたちへ伝える震災復興交流事業の一環として、仙台市史講座を開催することとなりました。

今回は、蒲生・岡田地区を中心に海岸林の歴史と浜の暮らしをたどるとともに、震災後の海辺に見られる自然環境の変化についてご紹介します。

〈演題〉

「海岸林の育成と里浜の暮らし
-仙台市宮城野区を中心に-」

〈講師〉 菊池慶子氏
(東北学院大学文学部歴史学科教授)

〈演題〉

「震災から蘇るふるさとの生きもの・私たちの海辺」

〈講師〉 平吹喜彦氏
(東北学院大学教養学部地域構想学科教授)

○日時○

平成29年3月4日(土)

13:30~16:00

○定員○

100名

応募者多数の場合、
抽選とさせていただきます。

○場所○

宮城野区中央市民センター3階
第3会議室

応募方法:1名につき1枚の往復はがきに住所・氏名・電話番号を明記し、

〒983-0842 仙台市宮城野区五輪2丁目12-70

仙台市宮城野区文化センター「第34回市史講座」係
までお申込みください。

応募締切:平成29年2月17日(金)消印有効

問合せ先:宮城野区文化センター TEL022-257-1213

仙台市博物館 TEL022-225-3074

愛林碑

(新浜海岸砂防林記念碑)

昭和13年新浜の耕地を飛砂や潮風の害から護りぬくために海岸砂地に造林の必要を感じた有志が集まり協議し、海岸林砂防組合を結成。昭和17年より県営事業により植林を始めた。

数度の台風並びに津波の襲来を受け、又長期に亘る戦時下の物資不足等幾多の困難に当面したが組合員一致協力し、昭和28年に大体の完成に至る。白砂青松のほとりを永久に、郷土を受継ぐ人々に伝えるため、海岸を護る精神を誇示するために愛林記念碑を建てた。



構想から15年に及ぶ植林が一区切り、新浜の人々が松林の中に記念碑を建立した際に撮られた一枚(平山孝さん提供)

宮城野区文化センター までのアクセス方法

- JRでおいでの方
JR仙台駅から仙石線下り方面行きで6分、陸前原ノ町駅下車すぐ。
- バスでおいでの方 (仙台駅前から)
仙台市営バス 仙台三和ビル・リッチモンドホテルプレミア前
50・51番のりば→宮城野区役所前下車すぐ
仙台ロフト前18番のりば→宮城野区役所前下車すぐ
宮城交通バス 仙台三和ビル・リッチモンドホテルプレミア前
仙台駅前50番のりば→宮城野区役所前下車すぐ
- お車でおいでの方
駐車場は80台です。(有料)。
数に限りがございますので、公共交通機関でのご来館にご協力をお願いします。



制作:東北大学老人いすスクールオブデザイン